

- 羽生市では、森林の面積が少なく、森林保護や林業分野に対し本税の利用は難しいと感じている。そこで、森林環境税を財源として、公共施設等の木質化を推進する方針
- 令和元年度においては、子育て支援や子どもの居場所の確保について要望が高まっていたことから、子育て支援拠点施設（名称 こどもひろば）を整備し、これに木材利用を行った。
 - ・同施設におけるフローリング、腰壁、巾木等の木質化

事業内容

1 公共施設の木質化事業

- ・地域子育て支援拠点施設の木質化を実施

【事業費】 36,720千円（うち譲与税2,070千円）

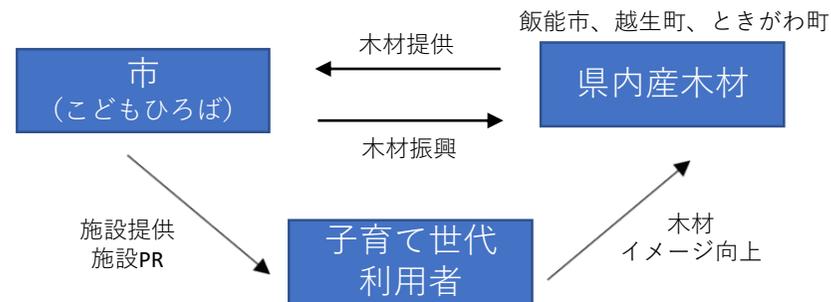
【実績】 床材：ナラ無垢フローリング130㎡、
 ナラ複合フローリング33.6㎡、
 床木製見切材5.5m
 壁・巾木：腰壁杉板41.1㎡、
 巾木桧37.4m、見切縁桧40.7m



（事業1：公共施設の木質化事業）

事業スキーム

1 公共施設の木質化事業



工夫・留意した点

木質化に当たり、材料は県内産を使用し、県産業の振興を図った。

基礎データ

①令和元年度譲与額	2,070千円
②私有林人工林面積（※1）	13ha
③林野率（※2）	0.2%
④人口（※3）	54,874人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より